

# 学生が考案夏レシビ

入間の昭  
和鶏卵の  
卵の新  
パッケージ



東京家政大学栄養学科（川合貞子学長）の学生が考案したオリジナルレシビと栄養価をプリントした、入間市の昭和鶏卵の鶏卵「こめたまご」の商品パッケージの夏バージョン＝写真＝が登場した。

この商品は産学連携事業として企画し、昨年11月から関東近辺のスーパーなどで販売している。飼料に国産米を使用しているのが特徴。旬の食材を取り入れたオリジナルレシビを学生から募集し、コンテストで入賞した8種類をパッケージにプリント。四季に

合わせてパッケージのレシビが変わる。

同大ヒューマンライフセンター准教授の内野美んは「今回の取り組みでレシビの考案だけでなく、の目線で自給率向上につながる。企画から実際の販至るまでのプロセスを経ることができた」と話す。春に第2弾も予定している。

平成27年8月18日  
埼玉新聞掲載記事